

第16回ビジネス講座

「インバウンドと鎌倉の観光振興」

～これからのキャッシュレス化～

概要

講師：波多辺氏



日 時：令和元年7月3日（水）15:00～17:00
会 場：横浜第2合同庁舎 関東運輸局 16階会議室
講 師：鎌倉商工会議所 専務理事 波多辺 弘三 氏

参加者：46名

【セミナー概要】

関東運輸局交通政策部では、2017年10月より「関東運輸局ビジネス講座」と銘打ち、公共交通・観光・物流・バリアフリー等、運輸局の業務に関係する題材をテーマに外部より講師を招いて公開講座を開催しています。

2019年度の3回目、通算16回目となる今回は、「インバウンドと鎌倉の観光振興 ～これからのキャッシュレス化～」と題し、鎌倉商工会議所 専務理事 波多辺 弘三 氏にご講演いただきました。

波多辺氏は、昭和53年に鎌倉商工会議所に入所され、平成19年からは専務理事を務められています。また、平成29年からは公益財団法人 鎌倉市観光協会 副会長にも就任されています。

講演では、①インバウンド ②鎌倉の観光振興 ③これからのキャッシュレス化 の順にお話いただきました。まず、①インバウンドについては、世界の国々と比較した日本の観光収入の状況やGDPと人口の関係等をご説明いただきました。

②鎌倉の観光振興では、鎌倉の来訪者の80%がリピーターであり、その内60%が5回以上来訪しているハードリピーターであるとのことで、歴史・伝統・文化だけでなく海や山などの自然資源や食も兼ね備えた鎌倉の観光地としての魅力と、反面、都心からの近さゆえ来訪者の2%しか宿泊していない、日帰り旅行に特化しているという現状と課題をお話いただきました。また、鎌倉の有名なあじさいですが、梅雨の時期に観光客が少なく地元の業者が困っていたことから、商工会議所が平成2年から「あじさい祭り」を開催し全国にアピールしたもので、比較的新しい取組であることに大変驚きました。現在では梅雨の6月は1月に次いで観光客が多く訪れる月となっているそうです。

③これからのキャッシュレス化では、国別の事情として、韓国ではクレジットカードを使用すると一定の条件の下、所得控除が受けられること、中国ではアリペイで病院やタクシーの予約や支払いが可能で、QRコード決

済が屋台でも使用できる程広まっていること、スウェーデンでは政府がキャッシュレス化を推進し、交通機関料金が電子決済でしか支払えなくなり、店舗でも現金お断りの店があるとのことで、各国でキャッシュレス化が広まった背景などもお話しいただきました。

また、鎌倉商工会議所が藤沢商工会議所、ネットスターズ、NTT 東日本と連携し実施しているキャッシュレス決済の導入支援についてご説明いただき、導入店側の利便性を考えると、連携業者の選定方法や選定基準が非常に重要であるとのことでした。

今後キャッシュレス決済を導入・推進しようと考えている団体や事業者等にとって、事業者主体の取り組みや考え方を聞くことができ、大変参考になったのではないかと思います。

【参加者感想】

- ・キャッシュレスについて、世界ではこんなに進んでいるのか、と初めて知り勉強になった。
- ・キャッシュレス化の具体的なメリット・デメリットが分かり良かった。
- ・既存のものを上手く工夫して観光客数を伸ばしたり、リピーターを増やす施策など具体的で良かった。キャッシュレスについても、今後を見据え業者選定、利用者（会員）に優位な手法など理解出来た。
- ・「キャッシュレスが進んでいけば、もっと買い物をしたのに」という来訪者が多数いることを伺い、キャッシュレス化の潜在価値を再認識しました。
- ・キャッシュレス化はこれからもっと重要になってくると思いますが、どうしても古くからの商店街などは抵抗があるところは多いと思います。そのような地域の理解協力などは非常に大事になってくると思いました。
- ・キャッシュレス化の導入効果等、結果をもう少し聞きたかった。
- ・オーバーツーリズムや低宿泊率等、同じ課題を抱えており、とても参考になりました。
- ・先進的に取り組まれている姿はすばらしい。

